

量子生命科学セミナー(第 141 回)

ソフトマターと凝縮系科学の最前線

柔らかい分子集合体の研究は、現代科学において重要な位置を占めています。ここでは、ソフトマターから現代社会を支える価値ある材料を生み出すという創造の喜びと、エントロピーが主要な役割を果たす現象の物理化学を構築するという知的活動の楽しみがあふれています。今回、様々な学会で活躍する新進気鋭の若手研究者が一堂に会し、最新の成果について講演していただく機会を得ました。多数の方々のご来場をお待ちしております。

日時：2014年3月5日（水）10：30～15：45

場所：広島大学理学部E002

主催：広島大学量子生命科学プロジェクト研究センター

参加費：無料

プログラム

10:30～10:35 開会の辞

10:40～11:10 「無機ナノシートコロイドが形成する液晶相」

宮元 展義（福岡工業大学）

11:10～11:40 「小さな分子が自己組織化したオルガノゲルの構造と物性」

西山 桂（島根大教育）

11:40～12:10 「生体分子モーターをモジュールとしたスワーム型運動素子の創製」

角五 彰（北海道大学）

13:10～13:40 「全身投与を目指した高分子ミセル型遺伝子キャリアの創製」

長田 健介（東京大学）

13:40～14:10 「液体の圧力誘起構造変化：高分子溶融体を中心に」

千葉 文野（慶応大学）

14:10～14:40 「化学ポテンシャルの理論計算に基づいた生体分子自己組織化の分子機構」

原野 雄一（大阪大学）

14:40～15:10 「溶液中の生体分子間実効相互作用：液体論的アプローチと大沢の二相近似のアイデア」

秋山 良（九州大学）

15:10～15:40 「濡れ現象の再考察」

眞山 博幸（旭川医科大学）

15:40～15:45 閉会の辞

16:00～20:00 研究交流会（講演者および希望者のみ）

20:00～20:10 まとめ

世話人：勝本之晶（広島大学）

連絡先：katsumot@hiroshima-u.ac.jp